

失

LOST

楽

PARADISE

袁

蒼穹のファフナー
FAN BOOK



一騎が夜
おフトンの中で
していることだけで
聞きたくない？



フェストウムに関すること
以外だったら
いらなぞ



そーしっ
いいこと教えて
あげようか！



一騎ね、昨日
おフトンの中で
パンツの中に手を入れて
ゴソゴソやってたんだよ
ちゅっと苦しそう
だったんだけど
ア、何してたのか
な、あ？

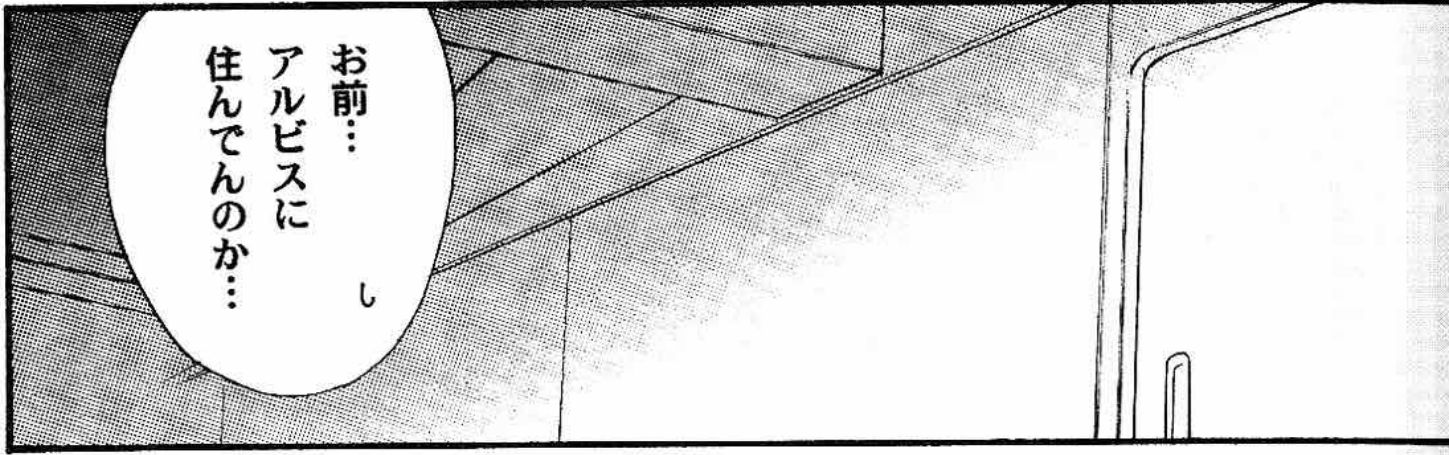
わかってるのか
いないのか
島の全てを握るモノ
皆城乙姫

え
だって私
コアだもん
見えちゃうんだから
しょうがないよ



つばき…
それはデバガメっ
ていうんだ
めなさい…

あー…
ゴホゴホ



お前… し
アルピスに
住んでんのか…



なんか…

何も無い
部屋だな…

殺風景だって
ソレソレのせいじゃんじゃ…

し…



何を言う
よく見ろッ



自販機だって
僕の部屋から
ほぼ11歩の距離に
ある！

コンパクトな
バスルームだって
ついてるし

机があつて
壁に写真も
飾つてある！

テーブルとソファが
ある！

ヘッドがある！



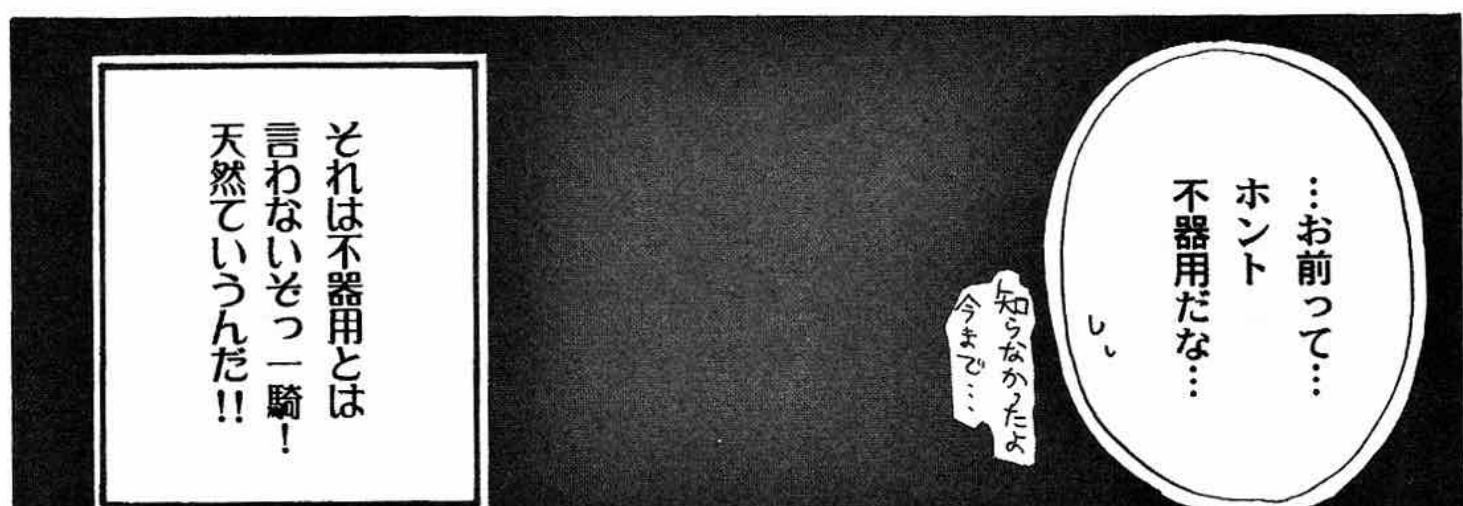
極めて便利だ！！

どーだ
何もな〜ほな〜だ〜う〜！

ホラ
ジュースだ！

ズイ

女おじがと...



…お前って…
ホント
不器用だな…

知らなかつたよ
今まで…

それは不器用とは
言わないぞっ一騎！
天然ていうんだ！！

オレさ…
この傷をつけた時のこと
忘れてたんだ…

オレがやったってことだけ
覚えてて
罪悪感だけが募ってた—

だからずっと
ちやんと向きあえなくて
お前がオレのこと
どう思ってるのか

君とひとつに
蔵王大志

わからなかった…

一騎…

コアナタメニ生マレタカラ
他人ヤ自分ノタメニ
生キチャイケナイ…

この傷は

フェストウム化した
一騎と同化しようと
できたものだ

お前が気に病む必要など
全くない

それに
むしろ…

僕にとつては
この傷は大切な
証だ…

うん…

総士はあの時
オレとひとつに
なりたかった？

ああ…

オレのことが
ずっと特別だったのか？

…ああ…

今でも？

ああ…

オレも！

お前のことは
ずっと特別だった

ぎゅっ

っ…騎…

恐くて逃げてたくせに
気になってしょうがなくて
こっちを向いてほしくて
しょうがなかった

ひとつになろう
総士

今なら
なれるだろ
オレ達…

えっ

何を言ってるんだ
同化なんかっ…

バカだな
同化じゃないよ
オレ達は人だろ

人がひとつになる方法は
フェストウムとは違う
オレとお前がいて
できることだ

ホラ

今
ひとつになれただろ

こうやって
もっと
ひとつにな
総士…



総士...



総士
気持ちいいか？

...ミン



アツ...





オレ達…今
ひとつになってる…

…ああ…

これから何度でも
こうやって
ひとつになろう
総士…

ああ





待て
一瞬っ

やめようって
言葉なら
聞かないから



オレがやりたいうって
言っただけだから
オレがやる!

しかし...



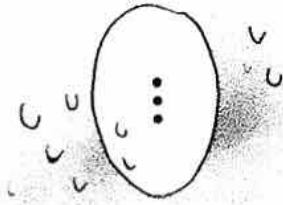
ダメだ。



いや...
こういう行為を
することに
異論はない...

が、
主導権を握ら
性分にあわな
僕にリードさ

オしがりやりたいんだ
やらせてくれ
総士、頼む



やり方は
道夫さんに教えて
もらったから
まかせろよ!!

つまるところ
甘えることができる
人間の方が
立場は強いってことだ

折。

わかった…

ぱた…





総士が言ったんだ
「必ず一騎の元に戻る」
って…

そう…

皆城君が
そう言ったんだ—



みんなの元に
でもなく
この島に
でもなく
一騎君の元に
ね…

だからオレ
アイツのこと
ずっと待つよ—

ホントに皆城君で
一騎君のこと
考えてないんだ…

皆城君
いつ戻ってくるんだ
ろうね



つーか百年くらい
たっちかたりして
アハハ

さあ…

でも
いつになっても
オレは持つつもり
だから!

翌日

早っ!!



総士ツ!!



ただいま!
一騎ツ
約束通り帰ってきたぞ

一騎のところ
早く帰ったから
がんばったんだ

随分早かったんだな!
でも嬉しいよ!!

オレもつかつかかと
思ってたから!!

他のチヨツカイも
心配だったし



いくらなんでも
戻ってくるの
早すぎたろ!!

ファフナーのパイロットと
クロッシングすると

いろいろな感情が
逆流してくる

怒り 悲しみ 恐怖
誰かへの強い想い
……

でも
あの時

5秒待て
すぐにすむ

エンロール完了
クロッシングを
開始する

あの時

一騎から流れ込んできた
感情は……

→ おもいで **騎**

影木栄貴



自動販売機だ

僕の部屋から歩いて
11歩の所にある
——極めて便利だ

——おまえって…
本当に不器用
なんだな……

——不器用だど？
僕はこう見えても
細かい作業は
得意分野で……

そういら
意味じゃなくて
そういう所が……

らや…

この話は
もういらや

それより
部屋に戻ろう
総士

オレも……
おまえに話した
事があるんだ

……

本当は
もう

話とは何だ？

わかって
だらう？

オレの気持ち……
ジークフリード
システムを通して……

おまえの
心の中は……

あれは……

ああ……

僕でいっばい
だった……

本当におまえの
本心なのか……？

本心かって……

オレ脳みそレベルで
ウソつく方法
知らないんだけど……

もしかして……
泣いてるのか……？

総士……

何で
おまえは……

突然そうやって
……

僕にとつておまえは…
この世でただ一人の
特別な存在だった

おまえだけは
僕のコトを理解
してくれていると
信じてた

総士……

なのに……おまえは
勝手に島を
出て行って……

だから……
忘れようと
思ったんだ……

これからは……
僕は島とて姫の
ためだけに生きて
行こうって……

突然戻ってきて
いきなりこんな
……

なのに
おまえは

すっ



総士 ——ごめんな



オレ…外の世界で
いろんなものを見て
知って……

そして戦って……
フェストウムに同化
されそうになつて……

もうダメだつ
思つた時

ようやく……
おまえの痛みが
少しだけ……
わかつたような
気がした……

真つ先に
思い浮かんだのは……
おまえの顔だつたん

おまえと
会いたい

話したい

触れたい
抱きしめたい

ずっとそばにいて
守りたいって
そう…思った

ぎゅっ…

一騎……

ぎゅっ…

かっ…
一騎…ッ
おまえというヤツは
こんな時に何を
考えて……

ごっごめん
総士にっくつ
体が勝手に



!

あっ



…

…

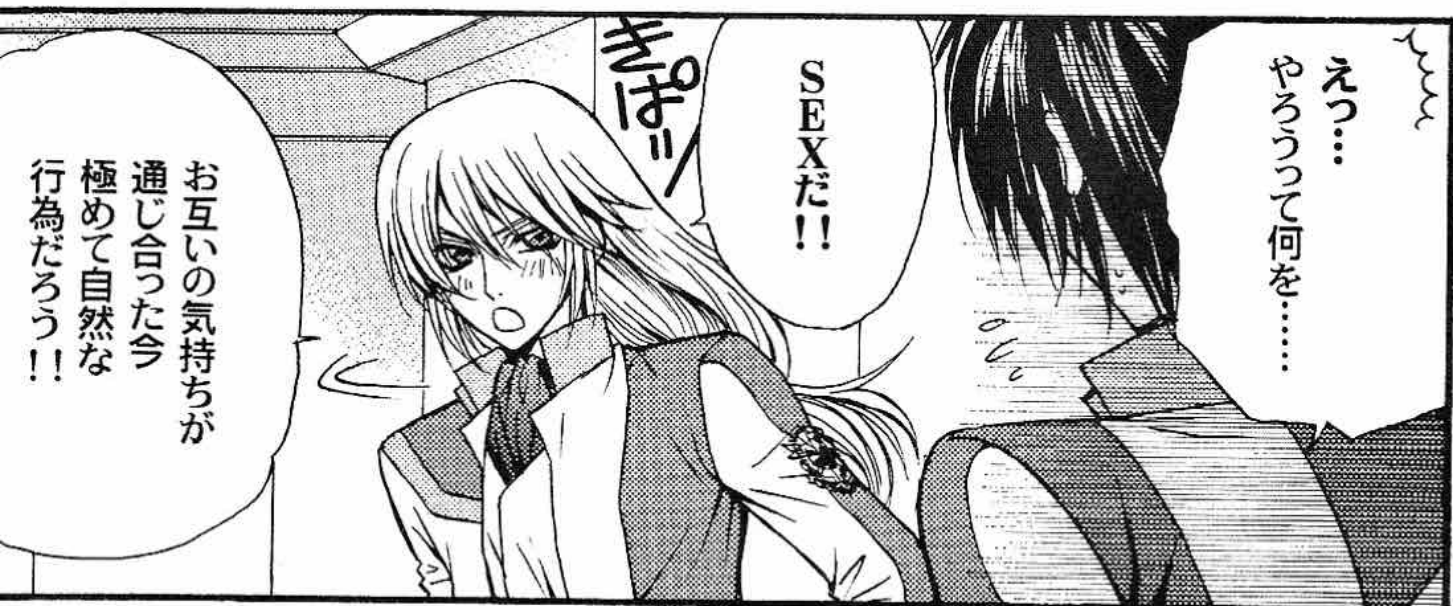


——よし！
やろう！！



どっしり……
どっしり……

どっしり……



お互いの気持ちが
通じ合った今
極めて自然な
行為だろう！！

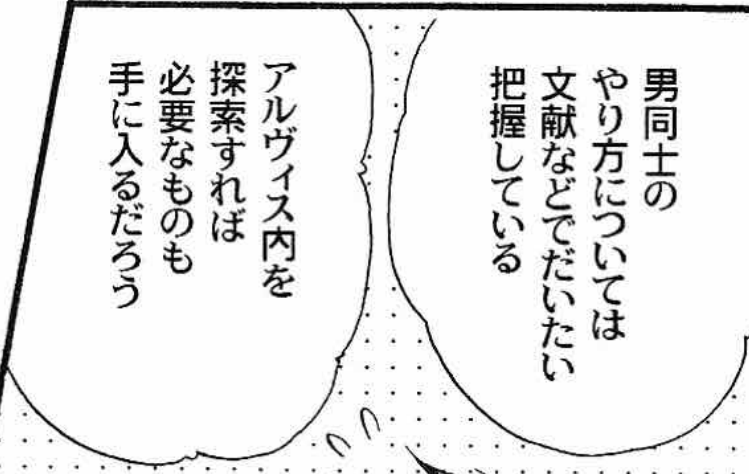
SEXだ！！

えっ……
やろうって何を……



ド！！
ド！！
ド！！

で……



男同士の
やり方については
文献などでだいたい
把握している

アルヴィス内を
探索すれば
必要なものも
手に入るだろう

おまえは先に
シャワーを浴



えっ
えっ
えっ
えっ



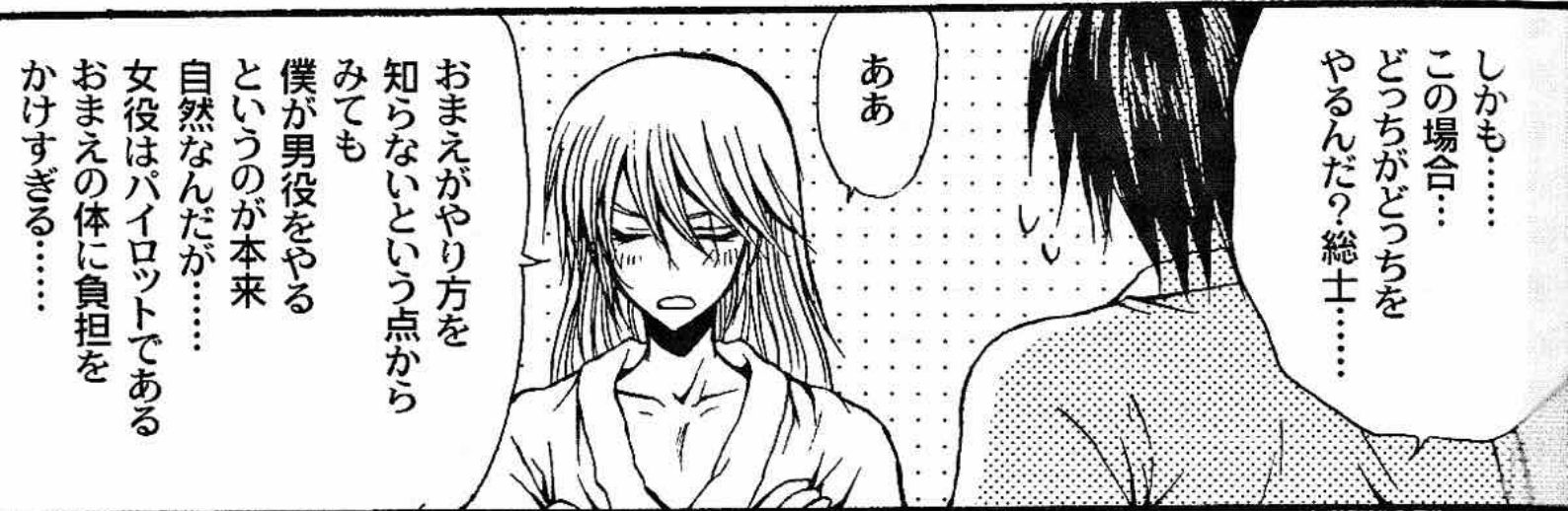
わざわざ
言っても……

オレ……やり方
わからないぞ……



さあ、
やろうか!!

……



しかも……
この場合……
どっちがどっちを
やるんだ？ 総士……

ああ

おまえがやり方を
知らないという点から
みても
僕が男役をやる
というのが本来
自然なんだが……
女役はパイロットである
おまえの体に負担を
かけすぎる……



なので
今回は

おまえはただ
寝ていれればいい
一騎

僕が
先遣

ツツ



総…しッ

ゴロ



あッ…
総士…ッ

それ以上やったら…
出る……ッ

ちゅっ…

ふっ…

ふっ…

ふっ…

ふっ…

う



...

...



...

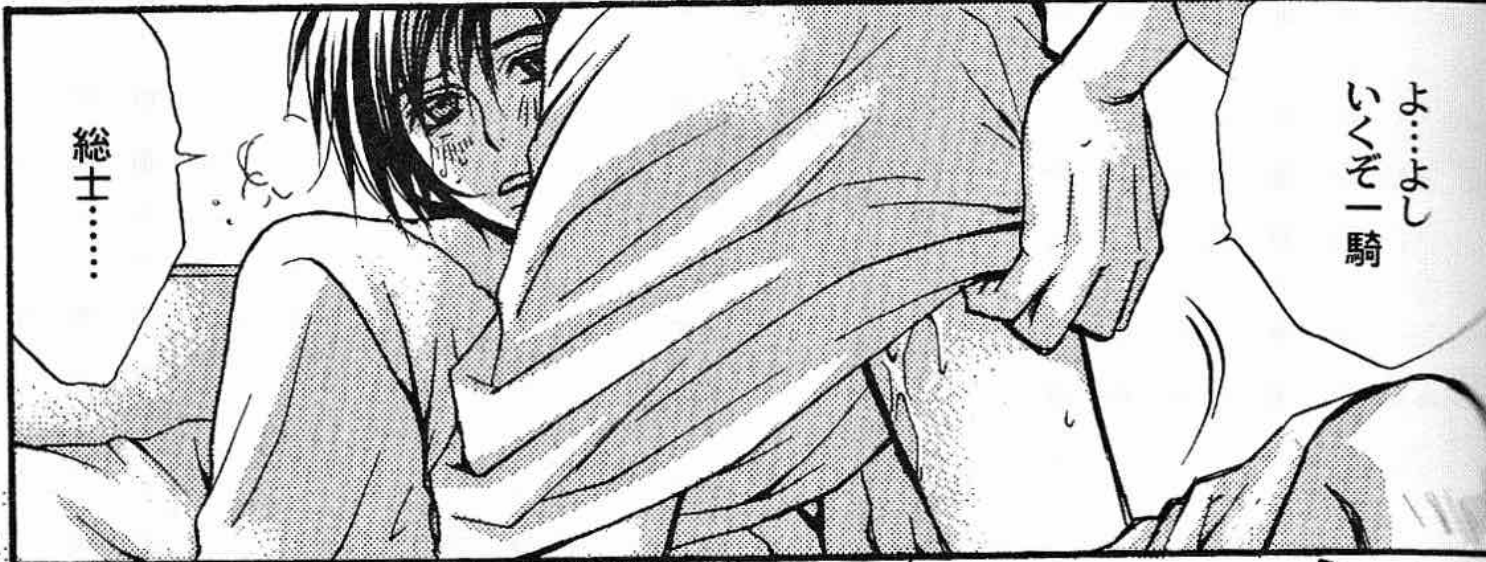
ぬる...



なっ...
何...ッ
いったい

10秒
待て

こちらの
準備をする



よ...よ...
いくぞ一騎

総士...



...



ん...

じじ...

総士...ッ

痛いならムチャするな!!

別に今日無理して全部やるしとしないても.....

ダメ...っだ!!

明日があるとは.....

限らないんだからな.....

あ

あ

あ

?

えっ...

く



あ…っ

一騎!?

——やっぱり……

二人で
一緒にやろう……
総士……



何をすればいいか……
教えてくれるか…?

……



じゃあ

キス…
一騎……



うん

うん

.....



お母さん……

ちが

うしろのか？
総士……



僕は今
とても幸せなんだ

一騎

忘れない

絶対に
忘れない
一騎

PRESENTED BY

子蔵屋

TAISHI ZAOU X EIKI EIKI

